



2021年10月29日

各 位

会 社 名 大研医器株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山 田 圭 一  
(コード：7775 東証第一部)  
問合せ先 財務経理部長 伊 丹 稔 和  
(TEL. 0725-30-3574)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想について、本日開催の取締役会において下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 9,000	百万円 1,200	百万円 1,200	百万円 840	円 銭 29.24
今回修正予想(B)	8,400	1,100	1,100	770	26.80
増減額(B-A)	△600	△100	△100	△70	-
増減率(%)	△6.7	△8.3	△8.3	△8.3	-
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	7,861	921	957	675	23.50

#### 修正の理由

売上につきましては、主力製品である吸引器関連製品および注入器関連製品の新製品「バイロン(吸引器関連)」「エイミー(注入器関連)」を当期の増収効果として見込んでおりました。それぞれ手術室で使用される「フィットフィックス(吸引器関連)」および主に手術後の疼痛管理に使用されるディスポ製品である「シリンジェクターPCA, バルーンジェクターPCA(注入器関連)」の次世代型製品であり、研究開発段階から医療現場と密着し、当社の製品特徴である独創的な医療機器として新たな医療サービスを提供できる製品として医療現場でも好評を得ている新商材であります。

しかしながら、コロナ禍における病院での販促デモ活動に制約が生じたことなどから、デモ実施から採用にいたるまでに相当の期間を要することとなり、当初見込んだ新製品の普及拡大ペースに遅れが生じております。

また、利益面につきましては、コロナ禍における営業活動費、販促費の減少から当初より販管費が減少する見込ではあるものの、売上高の減少により売上総利益が減少する見込であることから営業利益、経常利益及び当期純利益ともに前回予想を修正することといたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上